

有楽町再構築を体現する既存ストックの活用プロジェクト第1弾

スリットパーク  
「有楽町『SLIT PARK』」オープン

～都市の隙間（屋外路地裏スペース）を多目的空間にコンバージョン～

三菱地所株式会社は有楽町「Micro(マイクロ) STARS(スターズ) Dev(開発)メント」<sup>※1</sup>を契機に、有楽町で生まれた新しい仕組みやソフト的な取り組み等を、今後の有楽町エリア再構築のハード・ソフト両面に繋げる取り組みを推進しておりますが、新たな取り組みとして、新国際ビル・新日石ビル間の路地空間をリニューアルし、都市の隙間の公園機能として、「有楽町『SLIT PARK』」(以下、「SLIT PARK」)を2022年6月1日(水)より開業しますことのお知らせいたします。

本計画は、従前薄暗く活用されていない路地であった場所を、光と緑あふれる空間に変え、また工事に発生した廃材の一部を新たな空間演出として再利用する等、過去と未来が交錯することで生まれる違和感と刺激を演出しています。

この生まれ変わった空間を、有楽町エリアの新しい拠点として訪れる全ての方々に開放し、キッチンカーや路外ショップによる飲食・物販のサービス、空間に躍動感をもたらすアートの設置、また誰でも気軽に参加できるようなイベントを積極的に企画、実施することで出会いや交流を促進し、街の魅力度向上に繋げていきます。また今後、不整形な建物形状により行き止まりとなっていた壁を開口し、エントランスから「SLIT PARK」までを連続性を持たせたシームレスな空間となるよう更なる改修を進めてまいります。

三菱地所株式会社では、大手町・丸の内・有楽町エリアにおけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ」と位置づけ、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を目指し、今後丸の内 NEXT ステージを加速させる5つのまちづくり戦略<sup>※2</sup>を軸として様々な施策を推進します。その中で「長期経営計画 2030年」では、有楽町エリアを重点更新エリアの1つと定めており、有楽町エリアにおいて、既に有楽町ビル・新有楽町ビルの建替計画着手を発表済みですが、新築ビルの開発計画に並行して稼働中ビルについても、順次リニューアルを行い、有楽町エリア全体の再構築を促進してまいります。

【「SLIT PARK」/5つの特徴】

- (1) 通路として利用されてきた路地裏空間をフルリニューアルし、多目的な活動空間に転用
- (2) トークセッション等の会場機能やキッチンカー展開による飲食機能を実装
- (3) wifi 及び電源を各所に完備、執務空間として常時利用可能
- (4) ワークショップ等を通じ、有楽町ならではのコミュニティ形成を促進
- (5) 有楽町で推進するアート関連の取り組みを始め、大丸有全体で催す各種企画と連携



▲リニューアル前大名小路側通路入口



▲リニューアル後大名小路側「SLIT PARK」入口イメージ



▲リニューアル前大名小路側通路



▲リニューアル後大名小路側通路 イメージ



▲「SLIT PARK」イメージ

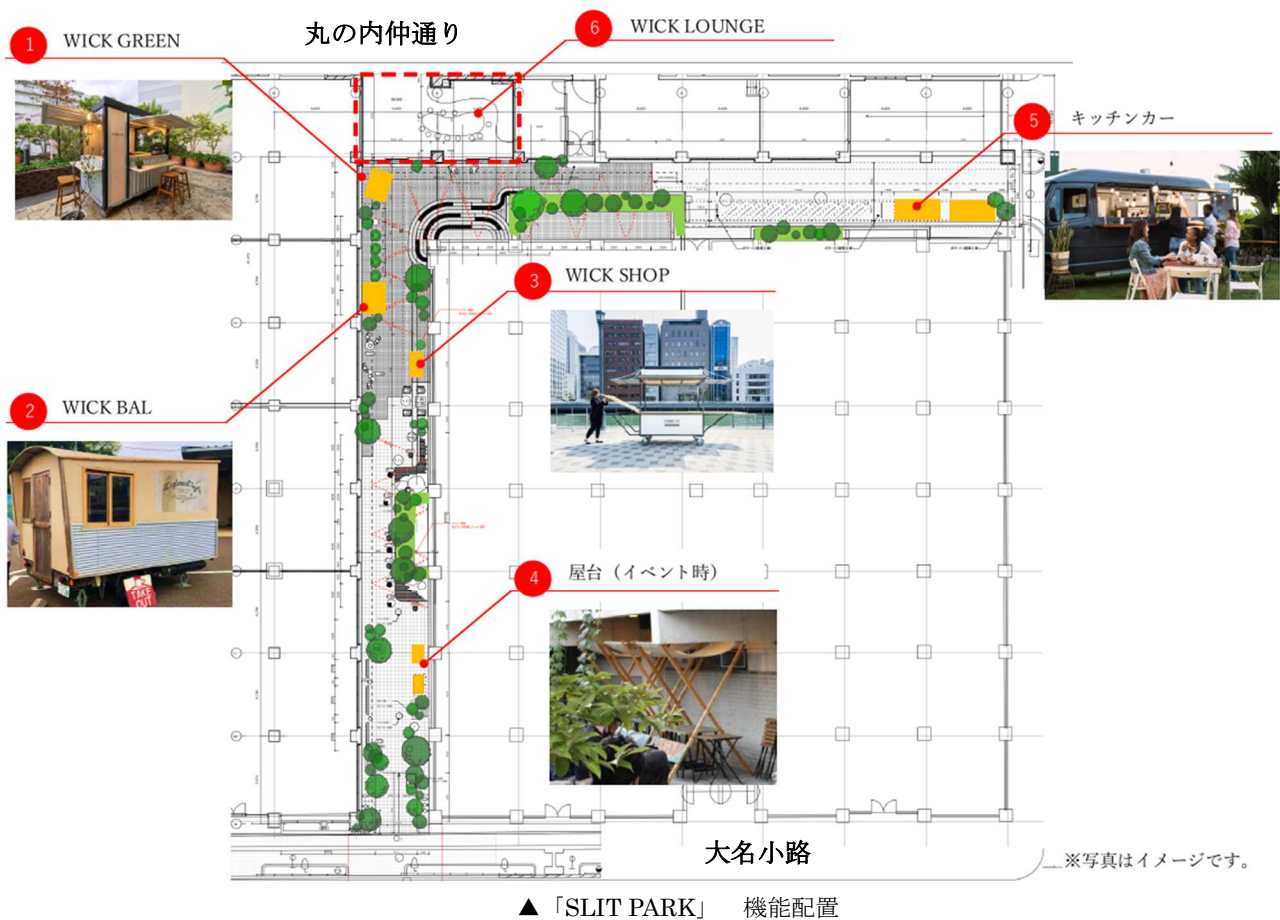
## ■1. 「SLIT PARK」について

- ・「都市の隙間を公園化する」というコンセプトを体現したネーミング。
- ・既存建物の平面配置を踏襲したピクトグラム。



▲「SLIT PARK」 オフィシャルロゴ

## ■2. 「SLIT PARK」の各機能について



### ① WICK GREEN

「SLIT PARK」の「森」を構成するグリーンやフラワーを販売するショップ。全体のインフォメーションブース機能を兼ねる。

### ② WICK BAL

森から湧き出す「水」をテーマに、水にこだわりをもつ生産者が手掛けるドリンク類や、生ハムを中心としたフィンガーフードを取り揃えているバル。

### ③ WICK SHOP

“オーガニック”や“ギフト”をテーマにした雑貨・加工食品・ドリンクを販売するカートショップ。イベント時には、DJブースやトークブースとしても機能。

### ④ 屋台

休日やイベント時に、雑貨・スナック・ドリンクを販売する屋台。

### ⑤ キッチンカー

リセット&チャージをテーマにしたランチBOXやドリンク類を販売。

### ⑥ WICK LOUNGE

森のメタバース映像空間を体感できるラウンジ。オーガニックエキシビション・ワークショップの実施などビジネス利用も予定。※8月中旬にオープン予定。

<「SLIT PARK」の設計者及び運営者について>

①施設設計者：(株)オープン・エー

- 本施設の設計者は「SAAI Wonder Working Community\*3」を手掛けた(株)オープン・エーを選定しました。

屋外空間の有効活用や既存ストックのリニューアルに強みを持っています。

• (株)オープン・エー 代表取締役 馬場正尊氏 コメント

都市は自然化したがっている。ガラスとコンクリートで覆われた空間のスキマから、植物たちは少しずつ、したたかに、その勢力を拡張していくだろう。両者がバランスしたところに新たな居心地のよさがある。スリットパークを、そんな未来の風景が侵食してきたような場所にしたいと考えた。小さいけれど、大きな変化の予兆になって欲しい。

Open A

②施設運営者：東邦レオ(株)

- 本施設の運営者は東邦レオ(株)を選定しました。緑と屋外空間を活用したコミュニティづくりに長けております。

• 東邦レオ(株) 代表取締役社長 吉川稔氏 コメント

有楽町のオフィス街の路地裏に、新たな出逢いの森が出来ました。働き方の多様化が進み、オフィスのあり方が問われています。緑とアート、音 (DJ) やアペリティフを触媒に、シェアスペース、コワーキングでは生み出せない、偶発的な出逢い (セレンディピティ) から想定外のイノベーションが起こる場をソーシャルに創造していきます。



■3. 今後の展開について

- 丸の内仲通り側エントランス及びオフィスロビーの改修を行い、「SLIT PARK」につながる、突き当りの区画を貫通させ、大名小路と丸の内仲通りを繋ぐ動線としての機能を持たせる。(8月中旬目途に完成予定。)
- 今後は、周辺エリアの既存ビルの改修も実施予定。



▲丸の内仲通り側新国際ビルメインエントランス イメージ



▲丸の内仲通りエントランスから  
大名小路側貫通予定オフィスロビー イメージ



▲丸の内仲通り側との貫通区画(WICK LOUNGE) イメージ

#### ■4. 有楽町「SLIT PARK」施設概要

所在地：東京都千代田区丸の内3-4-1

アクセス：有楽町駅より徒歩1分

面積：約501㎡(約151坪)

企画：三菱地所株式会社

設計・監理：株式会社オープン・エー、株式会社三菱地所設計

運営：東邦レオ株式会社

開業：2022年6月1日(水)

「Slit Park」イベント案内ホームページ

<https://wick-salon.studio.site/salon>



#### ■5. これまでの有楽町再構築の取り組み

##### ① 有楽町「Micro STARS Dev.」：(※1)

有楽町ビル1階「有楽町『micro FOOD & IDEA MARKET』」と新有楽町ビル10階「有楽町『SAAI』Wonder Working Community」及び有楽町の街全体を舞台に見出した、まだ価値の定まりきらない(=microな)人・アイディア・コト・モノをcultivate(交わり・耕し・育み・磨く)し、「次の時代を担うスターが生まれる“仕組み”を有楽町で作り上げる」ことを目指すプロジェクト。

始動リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202\\_msd.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202_msd.pdf)

公式ウェブサイト：<https://yurakucho-msd.com>

② 有楽町「micro FOOD & IDEA MARKET」：

有楽町「Micro STARS Dev.」の中心拠点として、2019年12月有楽町ビル1階で開業した、様々な人・アイデア・文化・食に出逢える複合型店舗。(1) ステージ機能、(2) 飲食提供を通じた“街の憩いの場”としての機能、(3) 物販・展示機能の3つの機能を有し、実験的な取り組みを行う。

- ・開業リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202\\_micro.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202_micro.pdf)
- ・公式ウェブサイト：<https://yurakucho-micro.com/>

③ 有楽町「SAAI」Wonder Working Community：(※3)

「人」「個」にフォーカスし、イントレプレナー(社内起業家)やイントレプレナー候補の方をメインターゲットとして、多彩な人材を集め、掛け合わせることで新しいアイデアが生まれ、磨かれ、社会に実装されていく過程における最初の一歩を踏み出すための会員制ワーキングコミュニティ施設。

- ・開業リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200213\\_saai.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200213_saai.pdf)
- ・公式ウェブサイト：<https://yurakucho-saai.com>

④ CADAN有楽町：

有楽町初の現代アート発信拠点として2020年7月17日に開業したギャラリー。産官学×カルチャーのプラットフォームとして活動する一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン(CVJ)と、日本屈指の現代アートギャラリーが加盟する一般社団法人日本現代美術商協会(CADAN)の共同運営。展示・販売を通じた若手アーティストの紹介のほか、大丸有ならではのアート×ビジネスが出会える場として活動。

- ・開業リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200709\\_yurakucho\\_art.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200709_yurakucho_art.pdf)
- ・公式ウェブサイト：<https://cadan.org/>

⑤ 有楽町アートサイトプロジェクト：

2020年代の東京を写真・アート表現によって再発見していくことを目的としたアートプロジェクト。第1弾は、「東京フォトグラフィックリサーチ」(TPR)が、顧剣亨氏、永田康祐氏の2名のアーティストをキュレーションし、有楽町の街並みを異なる視点で見つめ直すきっかけとなるような作品を制作、有楽町・新国際ビルの仮囲いに展示した。第2弾は、有楽町と丸の内仲通りを中心とした計8ヶ所のビル及び施設のガラスファサード部にて、写真家・小山泰介氏が有楽町で制作した約50点の新作からなる「INTERFACE\_YURAKUCHO」を展開。※企画終了

- ・第1弾リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200709\\_yurakucho\\_art.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200709_yurakucho_art.pdf)
- ・第2弾リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210316\\_interfaceyurakucho.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210316_interfaceyurakucho.pdf)
- ・公式ウェブサイト(TPR)：<https://www.tokyophotographicresearch.jp/>

⑥ ソノ アイダ #有楽町・ソノ アイダ #新有楽町

空き物件などを、ヒト・モノ・コトが介在する空間メディアとして活用するアートプロジェクト。2020年8月に国際ビルに「ソノ アイダ #有楽町」を実施し、現在は新有楽町ビルに移転し、「ソノ アイダ #新有楽町」を開催中。アーティストが自分の制作環境を移設し、約1ヶ月半の期間作品を制作しながらアーティストの営みを展示、作品販売も行う。スタジオプログラムのアーティストは期間ごとに入れ替り、常にアーティストのいる風景を提供している。

公式ウェブサイト：[www.sonoaida.jp](http://www.sonoaida.jp)

### ⑦ 有楽町アートアーバニズムプログラム「YAU」

大丸有エリアの立地企業などによるアーティストの持続的な支援を通して、アーティストと共にイノベーションを誘発する仕組みを構築する実証パイロットプログラム。

- ① アーティストの作品制作過程を街中で公開し、交流するスタジオ：「YAU STUDIO」（有楽町ビル 10 階）
- ② 次世代を担う若手アーティストに、専門家によるアドバイスを提供する相談所：「YAU COUNTER」（国際ビル B1 階）
- ③ 主に大丸有エリアのオフィスワーカーが、まちとアートについて学びを深めるスクール：「YAU CLASS」（①②双方）

の 3 要素から構成され、4 か月の期間を通して様々なプログラムが展開されている。

公式ウェブサイト：<https://arturbanism.jp>

### ⑧ 有楽町ウィンドウギャラリー

国内有数のブランド街である丸の内仲通り沿いのウィンドウを、アートが期間限定で華やかに彩る企画。各店舗のイメージに合わせてセレクトされた人気アーティスト 12 人の作品が、参加店舗 7 軒に展開。美術館やギャラリーを離れ、ショッピングのなかで目にするアートは街を訪れる人に新鮮な感動を提供。※企画終了

公式ウェブサイト：<https://ywg-2022.studio.site/>

#### 【注釈】

※2 5つのまちづくり戦略:

三菱地所は、2020 年代における丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町地区）のまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ」と位置づけ、「丸の内 Re デザイン＝人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台づくり」を推進しており、ポスト・コロナを本格的に迎えようとする今、改めて再定義した、丸の内のまちづくりに求められる役割と具体化戦略。

まちづくりに求められる役割と 5 つまちづくり戦略リリース：

[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220325\\_machi-strategy.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220325_machi-strategy.pdf)

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内  
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ<sup>※</sup>」と位置づけ、「人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台」を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124\\_marunouchinext.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf)

以上

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

三菱地所株式会社 広報部 TEL：03-3287-5200

<本件に関する一般の方からのお問い合わせ先>

東邦レオ株式会社（「SLIT PARK」運営事務局）TEL：090-9704-3141